

# 組織目標管理シート

年度	令和6年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策指標		作成日	令和6年4月1日
組織名(部)	水道局総務部	組織名 (準部・課・機関名)	経営管理課			評価日	

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R6目標	R6結果	取組名称(事業名)			
1	安定した事業運営を継続して実施するため、財政収支計画を策定します。	行財2-1-①	財政収支計画の策定	実施		・財政収支計画の策定	アセットマネジメントの成果を踏まえた財政収支計画を策定します。		
2	新・マスタープランにおける年度評価を実施するとともに、次期マスタープランを策定します。		所管課評価の取りまとめ	実施		・年度評価の実施	マスタープラン掲載事業の業績評価を実施し、評価内容をホームページ等で公表します。		
			次期マスタープランと前期実施計画の策定	実施		・次期マスタープランと前期実施計画の策定	財政収支計画の策定と連動しつつ、次期マスタープランとその前期実施計画を策定し公表します。		
3	事故・災害時などの非常時における、迅速かつ確かな応急給水・応急復旧体制を確保します。		局内訓練等の実施回数(回)	2		・各種マニュアルに基づく訓練の実施	危機事象対応マニュアル等、事故・災害時に備えた各種マニュアルに基づく訓練等を実施します。		
			応急給水体制の検討	実施		・次期マスタープランへ掲載	地震や寒波対応の反省を踏まえ、応急給水体制の強化に係る検討を行い、次期マスタープランとその前期実施計画へ掲載します。		

# 組織目標管理シート

年度	令和6年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策指標		作成日	令和6年4月1日
組織名(部)	水道局総務部	組織名 (準部・課・機関名)	総務課			評価日	

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R6目標	R6結果	取組名称(事業名)			
1	持続的な事業運営のため、継承すべき専門知識と実務経験を併せ持つ職員育成に取り組めます。	行財1-4-①	一人当たりの平均内部研修実施時間数(時間/人)	16.0		・水道局職員研修	水道局職員研修基本計画に基づき、階層別や専門別研修などを行います。  職場単位でのOff-JTの充実、活性化を行います。		
2	効率的な施設保全を推進していくため、省エネ設備導入による脱炭素化の推進、ライフサイクルコストの削減を図ります。	行財2-2-②	LED照明器具への取り替え数(灯)	107		・省エネ設備の導入	水道局本庁舎の蛍光灯照明器具を計画的にLED照明器具へ取り替えます。		
3	職員の健康を保持するため、安全衛生に配慮した施策を実施します。		定期健診精密検査受診率(%)	90.0		・精密検査受診の促進	定期健診における要精密検査対象者に対し、精密検査受診を促します。		
			職場巡視の実施回数(回)	3		・安全・衛生環境向上のための職場巡視	安全衛生委員による各職場の安全・衛生環境向上のための職場巡視を行います。		

# 組織目標管理シート

年度	令和6年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策指標		作成日	令和6年4月1日
組織名(部)	水道局総務部	組織名 (準部・課・機関名)	経理課			評価日	

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R6目標	R6結果	取組名称(事業名)			
1	職員の意識と能力の向上を図ることにより、適正な会計事務を推進するとともに、支払の迅速化と遅延防止に努めます。	行財1-1-①	研修会の回数(回) ・初任者向け 1回 (階層別研修) ・実務者向け 1回 (会計実務研修)	2		・適正な会計事務の推進	研修会等の実施により、適切な会計処理と支払遅延防止に対する職員の意識と能力の向上を図ります。		
2	契約事務の電子化に取り組みます。	行財1-1-①	電子契約の導入	令和6年9月導入		・電子契約の導入	従来、契約書については、紙と印鑑での契約締結を行って来ましたが、電子化にすることにより、契約のスピード化、コスト削減、情報のデジタル化が図られ、契約事務の効率を図ります。		
3	水道局における適正な入札・契約事務を継続的に実施します。	行財1-1-①	点検・研修会の回数(回) ・点検 2回 ・研修 2回	4		・入札・契約事務における適正な運用の継続	各課の契約事務が適切に行われるよう定期的に所管契約事務の点検を行います。また、制度改正等については、市契約担当部署とも情報共有を図り、適正な運用に取り組めるよう研修会を開催します。		

# 組織目標管理シート

年度	令和6年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策指標		作成日	令和6年4月1日
組織名(部)	水道局総務部	組織名 (準部・課・機関名)	営業課			評価日	

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R6目標	R6結果	取組名称(事業名)			
1	お客さまサービスの向上と業務の効率化を実現するため、デジタル技術の導入に積極的に取り組みます。	行財1-3-②	スマートメーターの実証実験における「見守りサービス」のモデル実施	実施		・スマートメーターの実用化に向けた検討	遠隔・自動検針による検針業務の省力化に加え、漏水の早期発見や高齢者の見守りなど新たなサービスの可能性について実証実験を通して検討していきます。		
			RPAの試行運用における業務削減時間数	500時間		・RPAの導入	定型的業務等を自動化することで業務の効率化、省力化を図るとともに、マンパワーを基幹的業務に再配分することで、お客さまサービスの向上を目指します。		
2	インターネットバンキング等の電子的決済サービスなど、国が進める公金収納等事務のデジタル化に取り組みます。	行財1-3-②	口座振替データの伝送化を開始する金融機関数	5行		・口座振替データの伝送化	DVDにより金融機関との授受を行っている水道料金等の口座振替データについて、段階的に伝送化を進めます。		
3	寒波発生時の水道管の破裂による大規模断水を防止するため、「空き家」の破裂対策を強化します。	政策15-2-②	長期不在家屋に対する予防的止水の試行実施	実施		・長期不在家屋における水道管破裂防止対策	「空き家」の水道管の破裂は、発見の遅れから水道水の需給ひっ迫の要因となります。これまで実施してきた所有者等への冬期止水の依頼や使用中止手続の案内に加え、今年度から局による「予防的止水」を試行的に実施します。		

# 組織目標管理シート

年度	令和6年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	一人当たり年間平均断水・濁水時間	作成日	令和6年4月1日
組織名(部)	水道局総務部	組織名 (準部・課・機関名)	技術管理室			評価日	

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R6目標	R6結果	取組名称(事業名)			
1	事故や災害に強い水道施設の構築に向け、工事の品質確保の一環として、総合評価方式を適正に実施します。	政策15-2-②	試行割合(%)	65.0		・総合評価方式の実施	3,000万円以上の一般競争入札案件に対し、総合評価方式を実施することにより、工事の品質確保を図ります。		
2	工事の品質確保の一環として、工事点検等の実施を通じ、適切な指導・育成を行います。	政策15-2-②	工事点検実施率(%)	30.0		・工事点検、中間技術検査の実施	当該年度工事(250万円以上)に対し、工事点検等実施することにより、工事の品質確保を図ります。		
3	技術系職員向け研修を実施し、職員の技術能力向上を目指します。	行財1-4-①	内部研修回数(回)	2		・積算照査研修、工事成績採点研修の実施	設計者を対象に設計指針を基に違算事例を交え研修を実施し、設計者の理解を深めることで積算照査の精度の向上を図ります。また、成績採点のばらつきをなくすための研修を実施し、適正な工事評定が行えるよう取り組みます。		

# 組織目標管理シート

年度	令和6年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策指標		作成日	令和6年4月1日
組織名(部)	水道局総務部	組織名 (準部・課・機関名)	中央料金事務所			評価日	

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R6目標	R6結果	取組名称(事業名)			
1	お客さまと直接関わる業務の受託者と課題を共有し、円滑な連携体制を築きます。		研修会開催回数(回)	4		・受託者との研修会の開催	業務の受託者と水道事業全般に係る研修会を実施し、円滑な連携体制の構築に取り組みます。		
2	災害時の応急給水活動を迅速に行えるようにします。		応急給水訓練の実施回数(回)	4		・給水訓練の実施	所属職員全てが拠点給水所設置可能者となるよう、より実践的な応急給水訓練を実施します。また、災害協定者等との合同応急給水訓練も実施し、迅速な応急給水活動を行えるよう取り組みます。		
			拠点給水所設置可能者の割合(%)	100.0					
3	高度化・複雑多様化する行政課題を市民の視点で考え、解決することができる職員を育成します。また、急激に変化する経済社会状況や将来起こりうる課題に対応できる職員育成に取り組みます。	行財1-4-①	所属内研修アンケートの平均理解度(%)	90.0		・職員所属内研修の実施	料金事務所職員として必要とされるスキルをテーマとした所属内研修を実施し、職員の意識や能力の向上に取り組みます。		

# 組織目標管理シート

年度	令和6年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策指標		作成日	令和6年4月1日
組織名(部)	水道局総務部	組織名 (準部・課・機関名)	秋葉料金事務所			評価日	

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R6目標	R6結果	取組名称(事業名)			
1	お客さまと直接関わる業務の受託者と課題を共有し、円滑な連携体制を築きます。		研修会開催回数(回)	4		・受託者との研修会の開催	業務の受託者と水道事業全般に係る研修会を実施し、円滑な連携体制の構築に取り組みます。		
2	災害時の応急給水活動を迅速に行えるようにします。		応急給水訓練の実施回数(回)	4		・給水訓練の実施	所属職員全てが拠点給水所設置可能者となるよう、より実践的な応急給水訓練を実施します。 また、災害協定者等との合同応急給水訓練も実施し、迅速な応急給水活動を行えるよう取り組みます。		
			拠点給水所設営可能者の割合(%)	100.0					
3	高度化・複雑多様化する行政課題を市民の視点で考え、解決することができる職員を育成します。また、急激に変化する経済社会状況や将来起こりうる課題に対応できる職員育成に取り組みます。	行財1-4-①	所属内研修アンケートの平均理解度(%)	90.0		・職員所属内研修の実施	料金事務所職員として必要とされるスキルをテーマとした所属内研修を実施し、職員の意識や能力の向上に取り組みます。		

# 組織目標管理シート

年度	令和6年度	(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	一人当たり年間平均断水・濁水時間	作成日	令和6年4月1日
組織名(部)	水道局技術部	組織名 (準部・課・機関名)	計画整備課	評価日	

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R6目標	R6結果	取組名称(事業名)			
1	施設の更新・耐震化等を効率的・効果的に進めるため、中長期的な計画の策定を行います。	政策15-2-① 政策15-2-② 行財2-2-① 行財2-2-②	浄配水施設及び管路施設に関する投資計画策定	次期MPIにおける投資計画策定完了・次期MPへの反映		・投資計画(2025～2034)策定	長期構想及びアセットマネジメントを踏まえ、令和7年度からの次期MP期間における浄配水施設及び管路施設に関する投資計画を策定します。		
2	老朽化した管路施設の計画的更新とともに、管路施設の耐震化を進めます。	政策15-2-① 政策15-2-② 行財2-2-②	基幹管路の耐震適合率(%)	70.5		・基幹管路の更新事業の進捗管理	新MPでは事故災害時に影響が大きい基幹管路の更新・耐震化に重点的に取り組んでいます。工事担当課と連携して進捗管理を行います。 ・取組指標R5結果: 70.3%		
3	老朽化した設備を計画的に更新するとともに、施設規模を適正化します。	政策15-2-① 行財2-2-②	事業進捗率(%) (実績累計出来高 /計画事業費)	100		・青山浄水場施設整備事業(R3～R6)	最終年度となる青山浄水場施設整備事業では、構内水管耐震化の完了や薬品注入設備・監視制御設備の切替が完了する予定です。 ・取組指標R5結果: 70.7%		
		政策15-2-① 行財2-2-②	事業進捗率(%) (実績累計出来高 /計画事業費)	100		・巻取水場施設整備事業(R4～R6)	最終年度となる巻取水場施設整備事業では、活性炭注入設備の設置の他、受変電設備や取水ポンプ設備の切替が完了する予定です。 ・取組指標R5結果: 36.1%		
4	事業マネジメント力や技術力を持った人材を育成します。	行財1-4-①	課内研修の理解度(%)	90.0		・課内研修の実施	技術研修3講座を実施します。 ①水道施設計画 ②管路事業計画 ③施設整備事業 ・研修後のアンケート調査により理解度を測定(平均値)		



# 組織目標管理シート

年度	令和6年度	(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	一人当たり年間平均断水・濁水時間	作成日	令和6年4月1日
組織名(部)	水道局技術部	組織名 (準部・課・機関名)	管路第1課	評価日	

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R6目標	R6結果	取組名称(事業名)			
1	老朽化に伴う施設の更新に併せて、水需要の減少を踏まえた施設能力のダウンサイジングを図るとともに、更新等費用の確保に努め、効率的な施設による安定給水の確保を図ります。	政策15-2-① 政策15-2-② 行財2-2-②	基幹管路耐震適合延長(m/年)	690.0		・基幹管路更新事業	基幹管路について、平成26年度に策定した「基幹管路整備更新実施計画」に基づき、着実な更新・整備を進めます。		
2	監督員の資質向上を図り、工事契約の適正な履行と円滑な施工の確保を実現します。	行財1-4-①	監督員研修の理解度(%)	90.0		・監督員研修の実施	監督員業務に必要な知識、経験を身につけるため、研修を実施します。 ・監督員研修開催 ・研修後のアンケート調査により理解度を測定(平均値)		
3	職員の職務能力を向上させ、効率的な業務執行と、安全、確実な施工につなげます。	行財1-4-①	課内研修の理解度(%)	90.0		・課内研修の実施	課内研修の実施により、技術・知識の向上を図ります。 ・①事務研修 ②管路設計計画 ③管路図の読み方 ・研修後のアンケート調査により理解度を測定(平均値)		

# 組織目標管理シート

年度	令和6年度	組織名 (準部・課・機関名)	管路第2課	(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	一人当たり年間平均断水・濁水時間	作成日	令和6年4月1日
組織名(部)	水道局技術部			評価日			

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R6目標	R6結果	取組名称(事業名)			
1	強靱な施設の構築により給水を確保します。	政策15-2-① 政策15-2-② 行財2-2-① 行財2-2-②	更新周期越えの配水管の更新延長(m)	6050.0		・老朽配水支管更新	漏水事故の未然防止及び安定給水を確保するため、アセットマネジメント手法を取り入れて策定した更新周期に合わせて、老朽化した配水管を計画的に更新します。 ・配水支管の更新(工事発注件数:24本)		
			更新件数(件)	2		・重要施設向け配水支管の耐震化	災害時に早急な対策、復旧計画の策定が求められる行政機関や救急医療施設などの重要施設向け配水支管の耐震化を優先的に進め、被災対応の充実に図ります。 ・中央区役所向け(R5~R6) ・東新潟病院向け(R6)		
2	安全な水道水をお客さまに供給し、水質事故を防止します。		指導実施回数(回)	1		・指定給水装置工事事業者の技術力向上	安全な水道水を供給するには、施工に携わる指定給水装置工事事業者の技術力向上が不可欠なため、更新手続きでの指導などを行い、給水装置に起因する水質事故を防止します。 ・指定給水装置工事事業者更新手続きの際、秋葉工事事務所と合同で指導を実施		
3	職員の職務遂行能力の向上のため、課内研修を行います。	行財1-4-①	研修の理解度(%)	90.0		・監督員研修	水道事業を取り巻く様々な変化に柔軟かつ弾力的に対応できる職員の育成を目指した研修を実施し、職員の職務遂行能力の向上を実現します。 ・課内研修後のアンケート調査等により理解度を測定(平均値)		
				90.0		・水理解析研修			
				90.0		・給水装置研修			
				80.0		・事務研修			

# 組織目標管理シート

年度	令和6年度	(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	一人当たり年間平均断水・濁水時間	作成日	令和6年4月1日
組織名(部)	水道局技術部	組織名 (準部・課・機関名)	浄水課	評価日	

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R6目標	R6結果	取組名称(事業名)			
1	施設の重大事故を防止し、施設の長寿命化を図るため、電気・機械設備及び土木施設の維持管理を着実にを行います。	政策15-2-① 行財2-2-②	設備点検実施率(%)	100.0		・電気、機械設備及び土木施設の計画的な点検の実施	計画的な施設・設備機器の点検(法定点検及び自主点検)を行い、重大事故の防止と水道水の安定供給に努めます。 ・設備点検実施率=設備点検実施数/設備点検の計画回数(法定点検+自主点検)		
			設備不良を原因とした浄水場機能停止事故の件数(件)	0		・老朽化した設備の修繕や更新工事の実施	施設・設備機器の修繕や更新を適切に行うことで長寿命化を図り、重大事故を防止します。 ・設備不良を原因として送配水ができなくなった事故件数(停電等の外部要因による事故を除く)		
2	職員の事故・災害時対応力と専門技術力の向上のため、各浄水場の特性に合わせた研修や訓練を実施します。	行財1-4-①	研修・訓練における理解度(%)	90.0		・職員研修・訓練の実施	現場対応力とスキル向上を目的とした研修・訓練を実施します。 ・危機管理、施設維持管理、浄水処理、監督員研修等 ・研修後のアンケート調査により、理解度を確認(平均値)		
3	浄水技術を着実に継承するため、人材育成プログラムを強化し、若手技術者を育成します。	行財1-4-①	スキルマップ習得状況のプロセス確認(段階)	3段階		・「浄水技術者育成計画」に基づく人材の育成	「浄水技術者育成計画」に基づき浄水技術者を育成します。 ・育成責任者と育成者で面談し、スキルマップを使用して習得状況を確認(目標設定、中間、最終の3段階)		
4	浄水発生土の有効利用を継続し、廃棄物の減量化を推進します。	政策16-2-①	浄水発生土の有効利用率(%)	100.0		・浄水発生土の有効利用	浄水処理工程で発生する汚泥を建設資材等に全量有効利用することで、環境に配慮します。 ・有効利用率=有効利用土量/浄水発生土量(天日乾燥後の搬出可能汚泥のうち有効利用した割合)		

# 組織目標管理シート

年度	令和6年度	(参考)	一人当たり年間平均断水・濁水時間	作成日	令和6年4月1日
組織名(部)	水道局技術部	組織名 (準部・課・機関名)	水質管理課	評価日	
			関連する総合計画における政策指標		

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R6目標	R6結果	取組名称(事業名)			
1	安全で良質な水道水を継続的に供給するために水安全計画の充実・適切な運用を行います。		水安全計画の評価実施率(%)	100.0		・PDCAサイクルに沿った運用	『安全な水の安定給水』に資するよう、水安全計画にそった水質管理を確実に実施するとともに、水安全計画を構成する各要素の技術的妥当性について確認し、必要に応じて見直しを行います。		
2	より安全な水道水を提供するため、市独自の目標値を定め管理を徹底します。		農薬類の本市独自目標達成率(%) (国の目標値の1/10以下)	100.0		・農薬類の管理目標値の設定 ・モニタリングの実施 ・粉末活性炭処理 ・結果の評価	より安全な水道水を提供するため、農薬及び総トリハロメタン類について、水質基準値等よりも厳しい、本市独自の管理目標値を設定し、重点的な管理を行います。		
			総トリハロメタンの本市独自目標達成率(%) (浄水場出口からの流通時間が24時間以内の地点で水質基準値の1/2以下)	100.0		・総トリハロメタンの管理目標値の設定 ・モニタリングの実施 ・粉末活性炭処理 ・結果の評価			
3	河川水質事故による水道水への被害を防止します。		水道水質に影響を及ぼした回数(回)	0		・水質事故時の緊急連絡 ・水道原水の定期的な調査 ・浄水課との連携強化	河川水質事故による水道水への被害を防止するために、関係団体と連携し迅速な情報共有を図ります。		
4	職員の職務遂行能力の向上に繋がる研修等を実施します。	行財1-4-①	課内外研修回数(回)	10		・分析技術に係る水道GLP教育訓練 ・調査・研究成果の発表	水質管理に係る人材育成として、OJTが効率よく行える環境を整備し、水質管理技術のレベルアップを目指します。くわえて、調査研究を計画的に実施し、その成果を業務へ反映させます。		

# 組織目標管理シート

年度	令和6年度			(参考) 関連する総合計画における政策指標	一人当たり年間平均断水・濁水時間	作成日	令和6年4月1日
組織名(部)	水道局技術部	組織名 (準部・課・機関名)	中央工事事務所			評価日	

No.	組織目標	総合計画(実施計画)上の位置づけ	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
			取組指標	R6目標	R6結果	取組名称(事業名)	概要			
1	配水管漏水事故の縮減のため、老朽配水支管、漏水が懸念される配水支管の更新工事を確実にを行います。	政策15-2-① 政策15-2-② 行財2-2-① 行財2-2-②	配水支管更新延長(m)	500.0		・小口径老朽管更新 ・配水支管改良	老朽配水支管、漏水の懸念される配水支管及び鉛給水管の計画的な更新を進め、給配水管における漏水事故を未然に防止し、水道の安定供給を確保します。			
2	給水管漏水事故の縮減のため、鉛給水管の更新を確実にを行います。	政策15-2-①	鉛給水管更新件数(件)	375		・小口径老朽管更新 ・鉛給水管更新				
3	職員の職務遂行能力の向上のため、課内研修を行います。	行財1-4-①	研修の理解度(%)	90.0		・監督員研修	配水管事故の迅速かつ的確な復旧を行うため、緊急連絡体制の確認を含む想定事故への対応等の実践訓練を実施し、不測の事態に備えます。また、水道事業を取り巻く様々な変化に柔軟かつ弾力的に対応できる職員の育成を目指した研修を実施し、職員の職務遂行能力を向上させます。 ・課内研修後のアンケート調査により理解度を判定(平均値)			
				100.0		・給水車運転操作研修				
				100.0		・管路探知, 漏水探知研修				
			実施回数(回)	1		・配水管漏水事故対応訓練				

# 組織目標管理シート

年度	令和6年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	一人当たり年間平均断水・濁水時間	作成日	令和6年4月1日
組織名(部)	水道局技術部	組織名 (準部・課・機関名)	秋葉工事事務所			評価日	

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R6目標	R6結果	取組名称(事業名)			
1	配水管漏水事故の縮減のため、老朽配水管、漏水が懸念される配水管の更新工事を確実にを行います。	政策15-2-① 政策15-2-② 行財2-2-① 行財2-2-②	配水管更新延長(m)	1360.0		<ul style="list-style-type: none"> <li>老朽配水管更新</li> <li>配水管改良</li> <li>小口径老朽管更新</li> <li>重要施設向け配水管の耐震化</li> </ul>	漏水事故を未然に防止するため、老朽配水管等を計画的に更新します。		
2	安全な水道水をお客さまに供給し、水質事故を防止します。		指導実施回数(回)	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>指定給水装置工事事業者の技術力向上</li> </ul>	指定給水装置工事事業者更新手続きでの指導や抜き打ち検査などにより指導を強化し、給水装置に起因する水質事故を防止します。		
			抜き打ち検査件数(件)	60		<ul style="list-style-type: none"> <li>給水装置工事の審査及び検査の徹底</li> </ul>			
3	職員の職務遂行能力の向上のため、課内研修を行います。	行財1-4-①	研修の理解度(%)	90.0		<ul style="list-style-type: none"> <li>監督員研修</li> </ul>	水道事業を取り巻く様々な変化に柔軟かつ弾力的に対応できる職員の育成を目指した研修を実施し、職員の職務遂行能力を向上させます。 ・課内研修後のアンケート調査により理解度を判定(平均値)		
				100.0		<ul style="list-style-type: none"> <li>給水車運転操作研修</li> </ul>			
				100.0		<ul style="list-style-type: none"> <li>管路漏水探知技術研修</li> </ul>			
			実施回数(回)	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>配水管漏水事故対応訓練</li> </ul>			

# 組織目標管理シート

年度	令和6年度	(参考)	一人当たり年間平均断水・濁水時間	作成日	令和6年4月1日
組織名(部)	水道局技術部	組織名 (準部・課・機関名)	北工事事務所	評価日	
			関連する総合計画における政策指標		

No.	組織目標	総合計画(実施計画)上の位置づけ	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
			取組指標	R6目標	R6結果	取組名称(事業名)	概要			
1	配水管漏水事故の縮減のため、老朽配水支管、漏水が懸念される配水支管の更新工事を確実にを行います。	政策15-2-① 行財2-2-① 行財2-2-②	配水支管更新延長(m)	491.0		<ul style="list-style-type: none"> <li>老朽配水支管更新</li> <li>配水支管改良</li> <li>重要施設向け配水管の耐震化</li> </ul>	老朽配水支管、漏水や濁水の懸念される配水支管及び鉛給水管の計画的な更新を進め、給配水管における漏水事故を未然に防止し、水道の安定供給を確保します。			
2	給水管漏水事故の縮減のため、鉛給水管の更新を確実にを行います。	政策15-2-①	鉛給水管更新件数(件)	120		<ul style="list-style-type: none"> <li>小口径老朽管更新</li> <li>鉛給水管更新</li> </ul>				
3	職員の職務遂行能力の向上のため、課内研修を行います。	行財1-4-①	研修の理解度(%)	90.0		<ul style="list-style-type: none"> <li>監督員研修</li> </ul>	配水管事故の迅速かつ的確な復旧を行うため、緊急連絡体制の確認を含む想定事故への対応等の実践訓練を実施し、不測の事態に備えます。また、水道事業を取り巻く様々な変化に柔軟かつ弾力的に対応できる職員の育成を目指した研修を実施し、職員の職務遂行能力を向上させます。 ・課内研修後のアンケート調査等により理解度を測定(平均値)			
				100.0		<ul style="list-style-type: none"> <li>給水車運転操作研修</li> </ul>				
				100.0		<ul style="list-style-type: none"> <li>水理解析研修</li> </ul>				
			実施回数(回)	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>配水管漏水事故対応訓練</li> </ul>				

# 組織目標管理シート

年度	令和6年度			(参考) 関連する総合計画における政策指標	一人当たり年間平均断水・濁水時間	作成日	令和6年4月1日
組織名(部)	水道局技術部	組織名 (準部・課・機関名)	西蒲工事事務所			評価日	

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R6目標	R6結果	取組名称(事業名)			
1	配水管漏水事故の縮減のため、漏水が懸念される配水支管の更新工事を確実にを行います。	政策15-2-① 政策15-2-② 行財2-2-① 行財2-2-②	配水支管更新延長(m)	625.0		・配水支管改良	漏水懸念路線や維持管理困難な配水支管及び鉛給水管について計画的に更新を進め、給配水管における漏水事故を未然に防止することにより、水道の安定供給を確保します。		
2	給水管漏水事故の縮減のため、鉛給水管の更新を確実にを行います。	政策15-2-①	鉛給水管更新件数(件)	30		・鉛給水管更新			
3	職員の職務遂行能力を向上させ、効率的な業務執行と、安全、確実な施工につなげます。	行財1-4-①	研修の理解度(%)	90.0		・監督員研修	大規模災害や配水管漏水事故の発生に対し、迅速かつ的確に対応できるよう、訓練を実施し、不測の事態に備えます。また、地域特性に柔軟かつ弾力性を求めた内容にすることで、組織的な対応能力の向上を図ります。 ・課内研修後のアンケート調査等により理解度を判定(平均値)		
				100.0		・給水車運転操作研修			
				100.0		・水理解析研修			
			実施回数(回)	1		・配水管漏水事故対応訓練			